
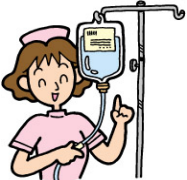



脊椎麻酔で子宮鏡下手術を受けられる方へ

◆ 外来での準備

月経の 一時的停止	月 日 () GnRHアゴニスト (リュープロレリン) 皮下注	子宮鏡下手術は月経が終わる頃から終了直後の期間にしか行えません。 予定を立てづらい場合は、一時的に排卵・月経を止めるホルモン薬を注射します。 注射することにより、手術を計画しやすくなり、筋腫の縮小も期待できます。 ・ 月経が始まったら5日目までに来院してください。 ・ 手術の約1か月前まで毎月1回注射します。 ・ 注射の効果は5～6週間続き、最後の注射から約3か月後に月経が再開します。
月経の移動	月 日 () ～ 日間 プラノバル服用	月経開始時期を変更するだけの場合は、手術の前の月に月経を調整します。 ・ 手術を予定している月経周期の前の月経が始まったら来院してください。 ・ 手術日程に合わせて中用量ピルを服用する日を決めます。 ・ 服用を終了したら3～5日後に月経が始まります。
術前検査	月 日 () ※ 絶飲食 (水分可) でお越しください	手術の1～2週間前に外来で術前検査 (採血) を行います。 ※ 検査値に異常があった場合は電話で連絡します。 ※ 風邪など体調を崩さないよう気をつけてください。
入院・手術	月 日 () ※ 朝食は軽めにとってお越しください	手術当日の11時頃に入院し、子宮の入口を広げるための処置を行います。 手術は15時以降に開始します。 ※ 手術に必要な物品：T字帯とナプキンは病院で準備します ※ 現在内服中の薬を入院時に持参してください
退院	月 日 ()	手術翌日に診察をして、問題がなければ退院できます。 ・ 退院後の療養はとくに必要ありません。 ・ 術後は癒着防止のため避妊器具が入ります。子宮収縮による痛みや不正出血が認められることがあります。鎮痛薬などで様子みてください。 ・ 月経が不順な方は、子宮内膜の再生を促すためにホルモン補充療法を行います。薬を20日間服用し終えたら月経が始まります。
退院後診察	<input type="checkbox"/> 次回月経後 <input type="checkbox"/> 約 日後	・ 術後経過が順調か超音波検査などを行なって確認し、避妊器具を除去します。 ・ 月経終了後に子宮ファイバースコピー検査を追加することもあります。 ・ 病理組織検査の結果をお伝えします。

◆ 入院後のスケジュール

	説明・指導	生活	食事	処置	投薬	検査
手術 当日	術前 ・ 看護師が入院生活について説明します 	・ 義歯、コンタクト、貴金属をはずしましょう	・ 13時頃まで水分をとれます	・ 子宮口を広げる吸水性の拡張剤を入れます	・ 手術前に点滴を始めます	
	術後	・ 麻酔が切れたら歩行できます ・ 痛みは我慢せずおっしゃってください	・ 夜から普通の食事ができます	・ 手術時に膀胱に管が入ります ・ 歩行できれば膀胱の管を抜きます		
1日目 午前	・ 手術結果、退院後の生活、今後の方針を医師が説明します 			・ 診察と超音波検査を行います	・ 朝食後から薬を服用します ・ 月経が不順な方はホルモン薬を服用し始めてください	・ 朝に採血があります